

<Central Japan Flair Cup 2015>

ルール概要

- ・競技時間は、ルーキー部門が3分、アドバンス部門は4分、プロ部門は5分の競技時間とします。(但しエントリー数が規定数に満たない場合は他部門との合併になります)
- ・プロ部門のみ全国オープンとします。それ以外の部門は東海地区会員のみのエントリーです。
- ・プロ部門の東海地区枠は4名です。それ以上のエントリーがあれば、東海地区での予選会を行います。予選会となった場合は、選手個別に連絡します。
- ・今大会は各部門にエントリー制限数がありますので、エントリー希望の選手は早めに連絡をください。
- ・各部門エントリー。フレア経歴年数や入賞経験などに関係なく選手自身が選択できます。
- ・『ワーキングフレア』『ポアチェック』で使用するボトルのポアラーは、スピルストップを使用します
- ・エキシビションで使用するボトルは、プラスチック・ポアラーの使用が可能です
- ・バートップのセッティングは変えることができません(グラス：左端、ティン：右端に配置)但しティンの数は自由です。またバートップ上のティンやグラスは下向きにセットしなければなりません。
- ・スピードルール、その他のセッティングは各選手が変えることが可能です
- ・出場者は競技開始15分前にバーバックから使用するボトルをもらい、自分でセッティングします
- ・時間内に完成しなかったドリンクやポアチェックは評価の対象になりません
- ・危険な行為、火を使う行為などを行なった場合は失格となります
- ・会場では梨園(ワーキング、エキシビション)、スカイ(ワーキング)は最大で3本まで用意されますが、それ以上のボトルを使用する選手は各自で持参してください。
- ・『バーテンダーズチョイス』に使用するボトルの中身は各自で用意してください。
- ・『バーテンダーズチョイス』に使用できるボトルに制限はありません。どの会社の製品も、何種類使用するかも選手各自で決めて下さい。ただし、当日(もしくは事前提出)ネーミングとレシピを書いたカクテルシートを提出していただきます。
- ・『バーテンダーズチョイス』に使用するボトルは、必ずボトルのラベルと中身が一致していなければなりません。必然的に、ボトルのラベルをはがすのも禁止とします。
- ・グラス、アイススコップ、ショートティン、スピルストップは会場に用意してありますが、その他使用する材料、器材はすべて各自で用意してください。
- ・使用する音源はCDまたはCD-Rで用意してください。当日の音源のレベル調整を事前に行う為、今回は事前提出とします。(TATULA 栄店宛、8/23 必着)
- ・ポアチェックに使用するティンとボトルは会場に用意されます。セッティング場所は自由です。(赤白テープがついています)
- ・ポアチェックのタイミングは演技中であればいつでもかまいません。またフレアを用いてのポアも可能で、そのフレアも加点対象に含みます。
- ・演技終了後にポアチェック用のティンに入った液体量を審査員が計量します。(1-1/2oz から±1/8oz 以内であればボーナスポイントが加算されます。
- ・ポアチェックは、必ず規定のボトルの液体(水)を注いでください。それ以外の液体を注いだ場合は計測をしません。必然的にポアチェックを行っていないこととなります。
- ・ポアチェックを行わなかった選手は30点の減点となります。
- ・当日、ボトルの中身は本物を用意します。ただし『ポアチェック』に使われるスカイウォッカのみ中身は水になります。必然的に、ポアチェックのスカイウォッカをエキシビションに使用することはできません。

・複数アイテムをドロップした場合、1アクション内でのドロップは1ドロップとみなします。

例1) 3ボトルで2本のボトルをドロップした場合【1ドロップ】

例2) 2ティン1ボトルでティンとボトルをドロップした場合【1ドロップ】

・ジュースコンテナは通常のタイプのもので会場側が用意します。ファイネストコールの使用はできません。中身の量は選手が自由に変更して構いません。(ワーキングのジュースコンテナは1/3 Full以上とします)

・カウンター上(パートップ、メイキング部分、アイスストック部分)に落としたアイテムは、ドロップに含まれません。原則として、床に触れたものをドロップとみなします。

・ワーキングのガーニッシュ「レモンピール」はカクテルグラスに振りかけるのみです。カクテルの中に入れてはいけません。レモンピールは落としてもドロップには含まれません。

・オリジナルカクテルはネーミングと味覚の審査を行います。ポアミスによる減点はありません。

・オリジナルカクテルには、最低でも「梨園」を1/2ozは使用してください。もちろん、それ以上であればどれだけ使用しても構いません。

・オリジナルカクテルの製作方法に制限はありません。どのような方法を使っても構いません。しかし、その製作方法に必要な道具は全て選手自身が用意しなければなりません。

・オリジナルカクテルに使用する材料は、各自で用意し保冷をお願いします。会場側の冷蔵庫・冷凍庫の使用は出来ません。

・透明なボトルや見えにくいボトルを見やすくする為や、その他の理由によりボトルにテーピングを巻くことは可能です。ただし、ボトルのボディ部分の上もしくは下、ネック周りの3カ所のみとします。

・ネック周りにテーピングする場合、ボトルの外側からポアラー周りにテーピングするのは禁止とします。ただし、ポアラーに直接テーピングし、ボトルの内側に入れるのは可能です。

・ドロップ数による減点増加ルールを採用したのは、フレアレベル向上の為です。本大会に出場される選手の皆様は、このルールを十分に理解し、ルーティーン作成と練習に励んでください。